

北見市における景気動向調査報告書

< 第 III 四 半 期 >

北 見 商 工 会 議 所

I. 調 査 要 領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成28年1月14日

(2) 調査対象期間 平成27年10月～12月期実績および平成28年1月～3月期見通しについて調査した。

2. 調 査 対 象

北見市に所在する製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を対象に、往復ハガキにより調査した。

3. 回 収 状 況

業 種 \ 企業数	対象企業数	回答企業数	回 答 率
製 造 業	30社	25社	83.3%
建 設 業	30社	21社	70.0%
卸 売 業	30社	20社	66.7%
小 売 業	35社	25社	71.4%
サービス業	25社	18社	72.0%
合 計	150社	109社	72.7%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

II . 概 況

《 全 体 の 動 き 》

平成27年度第Ⅲ四半期<10月～12月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」27.5、「悪化企業」34.0、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△6.5となっています。

このD・I値を前年同期と比較してみると、前年同期比△27.6→今回△6.5と21.1ポイントの好転となっています。また、前期<27年度第Ⅱ四半期>との比較でも、前期△9.2→今回△6.5と2.7ポイントの好転となりました。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値4.0、建設業D・I値△14.2、卸売業D・I値△10.0、小売業D・I値0、サービス業D・I値△16.7となっており、前年同期調査と比較すると、小売業で54.2ポイント、製造業で31.2ポイント、建設業で16.8ポイント好転している一方で、サービス業で4.9ポイント、卸売業で2.6ポイントの悪化傾向となりました。

特に、前年同期と比べ小売業で54.2ポイント、製造業で31.2ポイントと大幅な好転傾向を示し、D・I値では小売業で0、製造業においては4.0とマイナスからプラスに転じる結果となりました。内訳を見ると、小売業では食品・自動車・家具などの業種が好転を示し、製造業では小売業同様に食品や木材製品関連業種の改善が好転を示しています。

なお、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」17.4%「悪化企業」33.0%でD・I値△15.6と、前年同期(△31.9)に比べ16.3ポイント好転となり、回復傾向が見えつつある来期見通しとなっております。

《 業 種 別 の 動 き 》

1) 製 造 業

生 産 高

前年比で「増加企業」28.0%、「減少企業」24.0%、D・I値4.0と前年同期に比べ26.7ポイントの好転傾向を示し、マイナスからプラスに転じる結果となりました。

採 算

前年比で「好転企業」16.0%、「悪化企業」36.0%、D・I値△20.0と前年同期に比べ7.3ポイントの好転となりました。

来期見通し

業況D・I値△8.0、生産高D・I値△12.0、資金繰りD・I値△8.0と全て好転傾向を示し、予断を許さないものの明るさが見える来期見通しとなっています。

2) 建設業

完成工事高

前年比で「増加企業」33.3%、「減少企業」42.9%、D・I値△9.6と前年同期に比べ35.2ポイントの好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」38.1%、「悪化企業」28.6%、D・I値9.5と前年同期に比べ33.7ポイントの大幅な好転傾向を示し、マイナスからプラスに転じる結果となりました。

来期見通し

業況D・I値△28.7、完成工事高D・I値△38.1、資金繰りD・I値△19.0と全てのD・I値がマイナスに悪化しており、厳しさが見える来期見通しとなっています。

3) 卸売業

売上高

前年比で「増加企業」20.0%「減少企業」40.0%、D・I値△20.0と前年同期に比べ3.4ポイントの悪化傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」20.0%、「悪化企業」35.0%、D・I値△15.0と前年同期に比べ19.8ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況D・I値△15.0、売上高D・I値△5.0、資金繰りD・I値5.0と前年同期に比べ全て好転傾向を示し、予断を許さないものの明るさが見える来期見通しとなっています。

4) 小売業

売上高

前年比で「増加企業」28.0%「減少企業」40.0%、D・I値△12.0と前年同期と比べて42.2ポイントの大幅な好転傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」36.0%「悪化企業」28.0%、D・I値8.0と前年同期と比べ49.7ポイントの大幅な好転傾向を示し、マイナスからプラスに転じる結果となりました。

来期見通し

業況D・I値4.0、売上高D・I値△4.0、資金繰りD・I値4.0と、前年同期と比べ、全て大幅な好転傾向を示し、予断を許さないものの明るさが見える来期見通しとなっています。

5) サービス業

売上高

前年比で「増加企業」11.1%、「減少企業」27.8%、D・I値△16.7と前年同期と比べ17.9ポイントの好転傾向を示しました。

採算

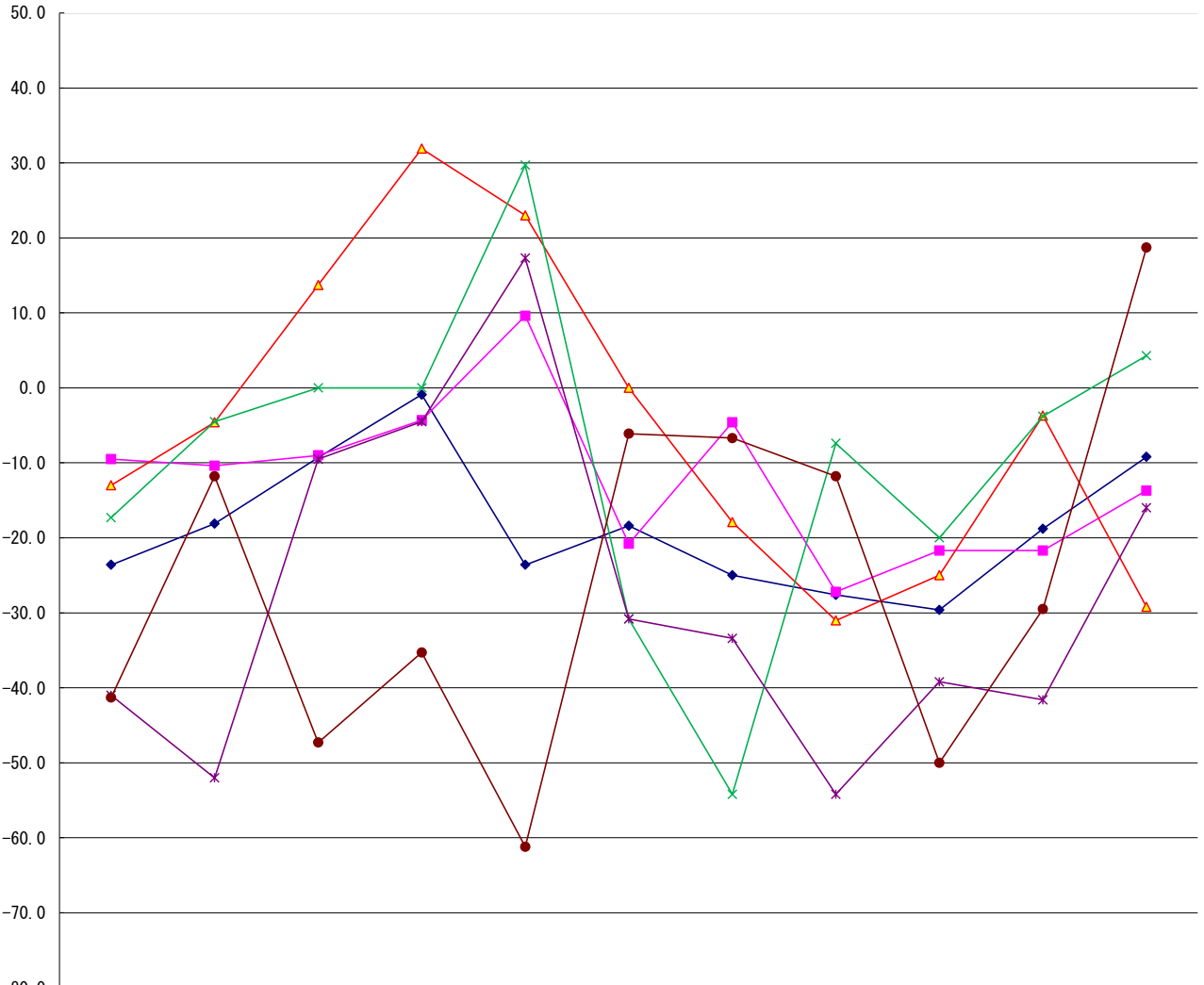
前年比で「好転企業」5.6%、「悪化企業」22.2%、D・I値△16.6と前年同期に比べ36.3ポイントの好転傾向を示しました。

来期見通し

業況D・I値△38.9、売上高D・I値△44.4、資金繰りD・I値△33.3と前年同期と比べ、わずかながら全て悪化傾向を示し、厳しさが見える来期見通しとなっています。

業況（前年同期比）

◆ 全業種 ■ 製造業 ▲ 建設業 × 卸売業 * 小売業 ● サービス業



	25. 1~3 2 4 年度IV	25. 4~6 2 5 年度 I	25. 7~9 2 5 年度 II	25. 10~12 2 5 年度 III	26. 1~3 2 5 年度 IV	26. 4~6 2 6 年度 I	26. 7~9 2 6 年度 II	26. 10~12 2 6 年度 III	27. 1~3 2 6 年度 IV	27. 4~6 2 7 年度 I	27. 7~9 2 7 年度 II
◆ 全業種	-23.6	-18.1	-9.3	-0.9	-23.6	-18.4	-25.0	-27.6	-29.6	-18.8	-9.2
■ 製造業	-9.5	-10.4	-9.0	-4.3	9.6	-20.8	-4.6	-27.2	-21.7	-21.7	-13.7
▲ 建設業	-13.0	-4.6	13.7	31.9	23.0	0.0	-17.9	-31.0	-25.0	-3.7	-29.2
× 卸売業	-17.3	-4.5	0.0	0.0	29.7	-30.8	-54.2	-7.4	-20.0	-3.8	4.3
* 小売業	-41.0	-52.0	-9.5	-4.5	17.3	-30.8	-33.4	-54.2	-39.2	-41.6	-16.0
● サービス業	-41.3	-11.8	-47.3	-35.3	-61.2	-6.1	-6.7	-11.8	-50.0	-29.5	18.7

業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	諸 経 費 増	人 材 不 足	得 意 先 減 少	人 件 費 増	同業者間の競合
建 設 業	人 材 不 足	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 件 費 増	得 意 先 減 少
卸 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	人 材 不 足	諸 経 費 増	人 件 費 増
小 売 業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増
サービス業	諸 経 費 増	人 件 費 増	人 材 不 足	同業者間の競合	得 意 先 減 少
合 計	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	得 意 先 減 少	人 件 費 増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

○前年同期比

全業種で見ると、「同業者間の競合」がトップとなり、前年同期調査でトップだった「諸経費増」と入れ替わり、それぞれ1位、2位となった。多少の順位の入替わりはあるが、1～5位までの項目に変化無しという結果となった。

また、業種別で見ると、製造業・建設業・サービス業のトップは前年同期と一緒にとなっている。卸売業は前年4位の「得意先減少」がトップとなり、大きく順位を上げる結果となった。小売業は前年2位の「同業者間の競合」がトップとなっている。

※その他及び具体的な業界の問題点の記載事項

- (製造) ○公共事業の減少 (鋳物製品製造)
- 下水道関係の仕事が無くなった (鋳物製品製造)
- (建設) ○公共事業の減少 (土木・建築)
- 資材の高騰 (土木)
- 大型物件の減少 技術職員の高齢化と、若年職員資格取得 (電気工事)
- (卸売) ○商品の価格上昇による売上げ減少 (作業服・事務服等販売)
- 人材が確保できない (作業服・事務服等販売、建築金物)
- 値引き販売の定着化 (化粧品)
- 取引先の高齢化 (塗料)
- 医療費抑制に伴う、医療福祉業の経営難 (医療・介護福祉機器)
- 利幅の低下 (種苗・肥料)
- (小売) ○人材教育 (自動車)
- (サービス) ○求人をかけても集まらない (ホテル【宿泊/宴会】)

※消費税増税の影響についての記載事項

- (卸売) ○10%まで一部無転嫁あり (医療・介護福祉機器)
○リフォームを含む建築着工が減少 (建築金物)

業 況

※太字アンダーラインは複数企業が回答

- 製造業 ⇒ 好転 (木製建具、木製品、製菓、製麺、農業用機械)
悪化 (印刷、ビール、一般製材、鋳物製品、石灰製品、ブロック)
- 建設業 ⇒ 好転 (電気工事、舗装・一般土木、内線工事、給排水・冷暖房)
悪化 (土木・とび、管・土木、土木・建築、板金)
- 卸売業 ⇒ 好転 (作業服、業務用食品、塗料、事務用品)
悪化 (食品、米穀、建築金物、建築資材・家具、石油製品)
- 小売業 ⇒ 好転 (家具、食肉、和洋菓子、眼鏡、自動車、家電、生鮮食品)
悪化 (衣料品、青果、靴、灯油・プロパン、米穀、火薬)
- サービス業 ⇒ 好転 (弁当仕出)
悪化 (ホテル【宿泊/宴会】、自動車賃貸、クリーニング)